

# 津山市第5次総合計画 分野別懇談会の様子と意見要旨 ～現場から津山の未来を考える！～

日時 平成27年2月3日(金) 15:00～ 場所 津山市役所 202会議室  
テーマ 農業・林業 参加団体数 12団体

市長あいさつ



会場の様子



いろいろなご意見が津山市の将来につながっています



農業の現状を踏まえながらご意見をいただきました



分野別懇談会ではお一人おひとりからご意見をいただいています。



分野別懇談会（農業・農林）での  
みなさんからの意見・提言です。

- 今後は農業経営体（集落営農や農業生産法人）の増加が有効ではないが
- 収益性を向上して離農を防ぐ努力をしなければならない
- もっと売れる直売所にして、農家の収入源にしたい
- 管内の農業従事者の63%が70歳以上であり、10年以内に引退が予想され、後継者確保が課題
- 50年後を見据え、特産化の推進に取り組むべき！
- 森林の公益的機能の維持のために「切って使って植えて育てる」循環型林業の構築を！
- 価格の低迷もあり、林業従事者の生産意欲の減退や森林所有者の関心の低下が問題
- 行政の範囲は複雑多岐にわたるが、ここまで来たら、あれもこれもというわけにはいかない
- 役所仕事ではなく、津山市の将来に向けて真剣に取り組んでほしい
- 津山に住めばいつでも何でも地元のもものが食べられるというのは魅力になる
- 補助金や政策のわかりにくさや煩雑さを解消し、誰でも取り組める農業に！
- 地域を支える小規模農家も大切な存在
- 農政が頻繁に変わり、振り回されるので、長期的な政策を望む

- 水源域として、森林の多面的機能の長期的な維持が重要
- 地域の暮らしと一体となった森づくり
- 森づくりは50年かかるという視点で！
- 山元にお金を返したいという思いで木材を扱っている
- 今後の展望が持てる木材の用途や販売先（海外も含め）を見出す必要がある
- 流域単位で予想される災害状況や対策を、分かりやすく示すべき
- 農業においても女性の活躍が必要
- 若い人が学校を出てすぐに就農できるしくみづくり

など、多くのご意見が、活発に出されました。

参加された皆さん、大変お忙しいところありがとうございました。

